

報告 1)

前回の連絡協議会議事結果等の確認

第20回 大型車通行適正化に向けた
関東地域連絡協議会

令和7年1月24日(金)

1. 第19回連絡協議会の開催

< 第19回連絡協議会の開催概要 >

◎開催日 : 令和6年7月25日(木)

◎開催方法: Web会議及び対面形式を併用

◎報告:

- ① 昨年度までの連絡協議会の取組報告
- ② 大型車両を取り巻く課題への対応状況

◎議事:

- ① 令和6年度の連絡協議会の活動計画(案)
- ② 令和6年度年間スケジュール(案)

◎開催風景:



座長挨拶



会議開催風景

2. 第19回連絡協議会 会議概要

①大型車両を取り巻く課題への対応

大型車両に関する全体的な課題事項として、

- ①特殊車両通行許可審査日数の長期化
- ②特殊車両通行許可基準・運用の緩和
- ③悪質な重量超過車両の走行

の3項目について、それぞれの課題に対する従前からの取組み状況を共有した。

②令和6年度の主な活動計画

- ◆ 荷主対策として、特車制度を理解頂くために説明会の開催や説明資料の配布を継続的に実施することとした。
- ◆ 協会等非加盟事業者への啓発に向けた新たな取組みとして、非加盟運送事業者の参加が想定されるセミナー・講習会等を通じた説明会の実施又は説明資料等の配布を継続することとした。
- ◆ 違反車両の交通安全対策として、連絡協議会委員等が実施しているX(旧ツイッター)と連携し、特車情報Xによる情報発信の拡大、連絡協議会HPとの連携や、合同取締作業部会と連携した広報を実施することとした。

2. 第19回連絡協議会 会議概要

【第 19 回】大型車通行適正化に向けた関東地域連絡協議会 会議概要

1. 会議開催日時・場所

- 日時：令和 6 年 7 月 25 日（木）14 時 00 分～15 時 30 分
- 場所：Web 会議（Teams）及びさいたま新都心合同庁舎 2 号館 19 階道路占用調整室

2. 座長（関東地方整備局道路部 道路環境対策技術分析官）挨拶の概要

- ・本協議会は今回で 19 回を数える重要な協議会であると認識している。
- ・2024 年問題として、物流業界では様々な課題を喫緊に解決しなければならず、通行適正化とダブル連結トラックの利用促進において、施策の展開と適正利用という視点から、関係機関と連携しつつ対応することが大きな課題の 1 つである。
- ・本協議会では、特に適正経路の利用に関して、道路の老朽化やメンテナンスの効率化等の課題もあるため、各分野を横断した多方面に渡る議論をしていただきたい。

3. 報告

①報告概要

1) 昨年度までの連絡協議会の取組報告（資料 1）

- ・連絡協議会の設立経緯及び昨年度までの連絡協議会の取組について報告した。

2) 大型車両を取り巻く課題への対応状況（資料 2）

- ・大型車両に関する近年の状況、大型車両に関する課題への取組内容、特殊車両通行ハンドブックについて報告した。

4. 議事内容

①議事概要

1) 令和 6 年度の連絡協議会の活動計画（案）（資料 3）

- ・大型車通行適正化に向けた広報の目的及び課題を確認し、今年度に行う取組について、特に注力するものや新たなもの、継続的な実施内容を提案し、了承を得た。

2) 令和 6 年度年間スケジュール（案）（資料 4）

- ・令和 5 年度 of 取組みについて、年間スケジュールを提案し、了承を得た。

②主な意見・要望について

- ・違反車両の割合が変わっていないように見受けられる。特車の申請を行わない事業者をあぶり出さなければ違反数は改良しないため、必要に応じて法令の撤廃・緩和、違反車両に対する厳罰化が必要だと考える。
- ・警察の交通情報板を活用した広報については、「無言のプレッシャー」もあるため、協議のうえ今年度も継続して掲示する。
- ・道路管理者による道路情報板を活用した広報については、掲示を実施する方向での調整を行う。
- ・特車情報 X での情報発信については、文字情報だけでなく、画像や映像、ハッシュタグ、二次元コードの掲載、イベントとの連携した広報等、効果的・効率的な情報の発信方法を検討する必要がある。
- ・広報活動が適正な許可を取ることに結びついているのか検証するべく、効果測定を異なる視点から行うことの検討も必要と考える。

5. 今後の予定

- ・次回の第 20 回連絡協議会は令和 7 年 1 月下旬頃開催予定。